

科目名	専門基礎分野			ディプロマ・ポリシー(DP)	DP 1				
	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進			担当教員	外部講師				
	疾病治療論Ⅳ								
履修学年	1年	履修学期	後期	単位数	1	時間数	30		
授業目標	1. 正常な脳・神経系が障害された場合に生じる様々な症状と病態生理を理解できる 2. 脳神経・末梢神経の部位別における主要疾患とその病態生理、診断、治療ができる 3. 運動器系の主要疾患とその病態生理、診断、治療が理解できる 4. 系統別リハビリテーションの意義・目的が理解できる								
回	学習内容				方法	担当教員			
1	1) 脳血管障害（クモ膜下出血、脳出血、脳梗塞）				講義	外部講師			
2	2) 脳腫瘍／頭部外傷（頭蓋骨損傷、急性硬膜下血腫、慢性硬膜下血腫）				講義				
3	3) 脳脊髄液の異常（水頭症、脳脊髄減少症） 4) 脊髄疾患（脊髄炎）				講義				
4	5) 脳神経系の感染症（脳炎、髄膜炎、脳膿瘍）				講義				
5	6) 末梢神経障害（ニューロパチー、神経痛、顔面神経麻痺、顔面痙攣）				講義				
6	7) 筋疾患・神経筋接合部疾患（筋ジストロフィー、重症筋無力症）				講義				
7	8) パーキンソン病、筋委縮性側索硬化症				講義				
8 9	9) 外傷性運動器疾患 （鎖骨骨折、肋骨骨折、上腕骨骨折、大腿骨骨折、骨盤骨折、脱臼、捻挫と打撲、神経の損傷[脊髄、末梢神経]）				講義				
10	10) 内因性運動器疾患 （関節リウマチ、変形性股関節症、膝関節症、骨腫瘍）				講義				
11	11) 脊髄疾患 （変形性脊髄症、頸椎症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア）				講義				
12 13	1) リハビリテーションの概念 (1) リハビリテーションの定義と理念 (2) リハビリテーションの対象(障害者の定義と身体障害者の状況) (3) 疾病・障害・生活機能の分類 (4) リハビリテーションの分野 (5) リハビリテーションの医療システム (6) 他職種協働システム (7) 高齢者リハビリテーション				講義				
14	12) 系統別機能障害とリハビリテーション （運動機能障害／呼吸機能障害）				講義				
15	事例課題 運動機能／呼吸機能リハビリテーション （車いす移送、歩行移動介助、移乗介助、体位変換・保持、自動・他動運動の援助）				演習				
評価規準 評価方法	筆記試験 100点評価								
テキストおよび 参考文献	専門分野 成人看護学[7] 脳・神経（医学書院） 専門分野 成人看護学[10] 運動器（医学書院） 別巻 リハビリテーション看護（医学書院）								
履修上の注 意点	脳・神経（1～7回） 運動器（8～11回） リハビリテーション看護（12～15回）								